

会 議 要 旨

記録者職氏名 課長補佐 首藤博敏

件 名	第1回石巻市立高等学校統合準備委員会
日時・場所	平成22年5月11日（火）午後1時30分～3時45分 市役所402会議室
出席者	教育長 綿引雄一、教育委員会事務局長 今野慶正、教育総務課長 吉田祐二、学校教育課長 山田元郎、学校教育課指導主事 瀬戸巳治雄、市立女子高等学校校長 三国清美、市立女子商業高等学校校長 岡部正利
議 題	(1) 「石巻市立高等学校再編の基本方針」について (2) 石巻市立高等学校統合準備委員会設置要綱について (3) 教育目標等の設定について (4) 教育課程の編成について (5) 統合工程表について (6) その他
会 議 要 旨	<p>(1) 「石巻市立高等学校再編の基本方針」について 1 から7までの基本方針それぞれについて、一つ一つ確認した。 <u>【意見】基本方針について、一つ一つ課題を明確にすることが大事で、その課題を解決する過程で新しい統合校の学校像を形づくることのできる。</u> 1の市立高等学校の在り方については、女子商と市女高を閉校し、女子校として新たな高等学校を新設するという意味であること。 <u>【課題】校名、校歌、校訓、制服等の検討。</u> 2の施設については、統合校の施設として現市女高の既存施設を活用する。 <u>【課題】平成23年度及び24年度において、耐震改修等工事を行う場合、当初の実施設計ではグラウンドにプレハブ教室を設置して対応することとしているため、代替グラウンドの手当が必要である。</u> <u>【課題】統合校の教育課程に対応した施設改修について検討する必要がある。</u> 3の学科については、普通科3コース制（普通科系、家庭科系及び商業科系）とし、多様な進路希望に応じた科目選択を可能とする類型（共通選択科目）の設定を検討することとするが、施設及び人的条件の制限を受けるものであること。 <u>【課題】コース名称の検討、類型の大枠の決定、共通選択科目の設定。</u> <u>【意見】現状の施設では、3コースを設置した場合、その上に多様な類型を設定するには教室数が足りない。</u> 4の学級数及び定員については、6クラス240名とするものの、進学状況を勘案しながら、現状に合った規模について継続検討するものであること。 5の統合目標年度については、平成25年度とするため、同年度から現市立2校の募集を停止し、平成26年度末をもって2校を閉校するものであること。 6の施設の改修のうち、耐震補強工事については、実施設計まで出来ており、平成23年度からの総合計画実施計画に盛り込み、平成23年度及び24年度の2</p>

	<p>カ年事業として実施しようとするものであるが、教室等施設の改修については、耐震構造に影響を与えない範囲でしか実施できないものであること。</p> <p><u>【課題】耐震構造に影響を与える設計変更の場合、耐震補強工事を平成24年度中に完了することができない。</u></p> <p><u>【課題】耐震改修工事の概要について示してほしい。</u></p> <p>7の統合準備委員会の在り方について</p> <p><u>【意見】統合前年度には、統合中心校に準備室を設置する必要があるが、差し当たり、教育委員会事務局内に統合のための準備室を設けるなど、しっかりした体制を整えるべきである。</u></p> <p>(2) 石巻市立高等学校統合準備委員会設置要綱について</p> <p>統合準備委員会及び幹事会での検討の進め方については、基本的には各検討項目について、準備委員会で大枠の方針を示し、それに基づき幹事会において具体的に検討を行い、その結果を準備委員会にフィードバックして行うこととする。</p> <p>(3) 教育目標等の設定について</p> <p>校訓、教育目標については統合前年度（平成24年度）までに設定することとする。</p> <p>(4) 教育課程の編成について</p> <p>目指す学校像、生徒像を思い描きながら、品格教育やコースの大枠を定め、必修科目、共通選択科目を検討していくこととする。</p> <p>(5) 統合工程表について</p> <p><u>【意見】統合までの全体工程について、各検討項目ごとに、何をいつまで決めなければならないかを、準備委員会の検討スケジュールの中にはっきりと示すべき。</u></p> <p>(6) その他</p> <p>1) 次回検討事項</p> <p>品格教育、必修科目及び共通選択科目単位数大枠の検討</p> <p>2) 次回日程</p> <p>日時 平成22年6月9日（水）午後1時30分から</p> <p>場所 市役所501会議室</p>
備 考	